

2021年度 事業計画書

自：2021年4月 1日

至：2022年3月31日

当財団は、これまで研究助成とフォーラム・シンポジウム等開催助成を中心に、情報科学分野の研究活動に対し、過去25年にわたって累計 5億9645万円を助成してきた。本年もその方針を維持しつつ、助成事業を中心に置き、情報科学の振興を図り、学術の発展に寄与していく。

公益目的事業

公益目的事業1

助成事業

1. 研究に対する助成

大学等、公的研究機関などそれらに属する研究者が行う情報科学に関する研究に対し、次により研究費の助成を行う。

(1) 研究助成金額

予算総額 2,000万円

(2) 助成対象研究の募集及び選考

大学等、公的研究機関などそれらに属する研究者等から情報科学に関する適切な研究テーマを募集し、その中から選考委員会において研究助成対象者を選考する。

(3) 募集期間

2021年6月1日（火）～2021年8月31日（火）

決定は2021年11月中旬。

2. 国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会の開催に対する助成

(1) フォーラム・シンポジウム等開催助成

予算総額 200万円

(2) 募集及び選考

国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会を募集し選考する。

(3) 募集期間

2021年6月1日（火）～2021年8月31日（火）

決定は2021年11月上旬。

公益目的事業2

フォーラム等開催事業

講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー研究集会及び研修会の開催

「第20回 Kフォーラム」開催

日時 2021年8月中旬～下旬の木曜から土曜で開催（2泊3日）

場所 ホテルアソシア高山リゾート

表題 ざっくばらんフォーラム「AI・ロボットも使ってこそ使われてこそ」
2020年度は新型コロナの影響で、やむなくKフォーラム開催は中止した。2021年度は、前回予定していたフォーラムテーマを踏襲しつつ、若干内容を修正して開催する。

予算 500万円（事前・事後事務経費全て含む）

【趣 旨】

前回2020年度のフォーラムテーマ「AI・ロボットも使ってこそ使われてこそ」を踏襲して、以下の趣旨で開催する。

AI・ロボットは、夢のブームの時は過ぎ、実用の段階になり社会実装も進みつつあるように思われますが、本当に実社会で普及し、いつもの人の営みに馴染んだ存在になるには「**使ってこそ使われてこそ**」ではないでしょうか。

AIやロボットの最新技術の社会実装（教育、産業）に関する話題を提供し討論を展開していただける方々をお招きし、AI・ロボットの最新技術を使った明るい未来を展望できるような議論の展開をしてみたいと思います。

また財団発足から四半世紀の節目を昨年終えたこともあり、今年は**新しい試みとして、スタートアップの地点に立っている有望な若手研究者の特別参加を企画**してみます。

ざっくばらんな議論を目の当りにし、それに参加して大いに刺激を受けてもらえるのではないのでしょうか。それぞれに未来を拓く研究活動に活かしていただくことができるのではないかと思います。

新しい魅力あるフォーラムになると期待しています。

公益目的事業3

機関誌、論文集刊行及び啓蒙事業

出版物の編集及び刊行等

- ・財団機関誌（K通信）を6月（No. 49）と12月（No. 50）に発行する。
- ・財団機関誌の配布及びホームページへの掲載などの啓蒙活動の実施。

その他

1. 公告・情報公開

情報公開や情報発信、機関誌の掲載などホームページの内容を充実させるなど、ホームページを活用した活動を行なう。

2. 特定費用準備資金

設立30周年(2025年度)に向け、記念事業実施のための積立を行なう。計画は、5,000万円を積立。2021年度は500万円の積立。

3. 情報学シンポジウム後援

2021年度「名古屋大学情報学シンポジウム」を継続後援する。後援費用は100万円で、法人会計 雑費とする。

以上